

クライミングジム リバー 福岡大野城店 利用申込書

会員番号	
ふりがな	
氏名	
住所	〒
電話番号(携帯)	重大な事故を起こした際の緊急連絡先となります。必ずご記入くださいますようお願い申し上げます。
学校	大学・専門学校生() 高校生以下()

クライミングシューズ レンタル [¥310] はご利用になれますか? 希望します ・ 希望しません
クライミングチョーク レンタル [¥100] はご利用になれますか? 希望します ・ 希望しません

※施設ご利用の際はクライミングシューズとチョークは必須となります。
※レンタル品を複数人で使いまわす行為は禁止しております。ご注意ください。

インフォームドコンセント 下記の文章をよく読んでから、理解した・はい に○をつけてください。

施設のご利用に関して

当施設は、ボルダリングとよばれるスポーツクライミングを楽しむ為の施設であり、一般的な遊技場とは趣旨が異なります。登るために精神集中されてる人、緊張を強いられる課題を登っている人、レジャーやフィットネス目的の人など様々な方がいます。自分がいる場所がどういう状況であるか確認し、不快感を与えないようお互いが配慮しあっていただく必要がございます。また、クライミングを楽しむためにはその危険性を理解し、常に意識し、ルールやマナーを守って頂く必要がございます。危険な行為を繰り返したり、他のお客様に迷惑になるような行為を繰り返す場合、退出して頂く場合がございます。重大な事故につながる可能性もありますので、ご理解ください。

理解した

当施設内にごみ箱はございません。使用されたテープングや飲食された後のゴミは、各自でお持ち帰りください。

はい

駐車スペースは店舗前のみとなっております。近隣施設に駐車されますとトラブルとなりますので決して駐車されないようお願いいたします。

はい

食事や買い物等で当施設を離れる際は、必ず店員にお声をかけて下さい。

1時間以上当施設より外出された際は再入場をお断りする場合がございます、ご了承ください。

はい

クライミングの危険性について

クライミングには危険が付きまといます。逆に危険性があるからこそクライミングが成り立っているといえます。

人口壁(インドアクライミング)は、自然の岩場に比べて危険がはるかに少ないのは確かです。

しかし100%安全なものではなく、そこにはジム固有の危険が潜んでいます。

ロープを使用して安全確保をとらないボルダリングは、失敗 = 地面までの墜落(着地失敗による怪我の危険)を意味します。

クライミングをする者は危険に対する自己意識を常にもち、自分で自分を危険に対してコントロールしなければなりません。

クライマーは常に危険を意識し他人任せではなく自分の身は自分で守るということを前提にクライミングをする必要があります。

理解した

ボルダリング用の高さ約5メートルの壁が設置されています。壁には厚さ約30センチメートルのマットを敷き詰めておりますが、これは着地する際に衝撃をやわらげるためであり、すべての墜落に対応しているわけではありません。

着地には必ず下に人がいないかを確認し足から安全な姿勢で着地して下さい。

またルート中の接触にも十分注意し利用者同士が譲り合って事故のないよう努めて下さい。

はい

この施設を利用することは本人及び保護者の自己決定にもとづく自主的なものである。

はい

この施設における全ての事故について保険が準備されていないのを承知している。

はい

施設内での危険性([]内は起こる可能性について)

事故として考えられる可能性の高いものとして下記のことを理解して下さい。

特に他の利用者との接触には注意が必要です。ジム内での不用意な着地やトライは下にいる人を巻き込んでの惨事に発展する可能性が有ります。さまざまなクライマーが集まりますので、それぞれが危険に対する認識を持ち合わせて頂く必要がございます。

- 着地の失敗によるケガ [高]
- トライ中、失敗した際の下の人と接触 [高]
- 他の人にルート上(壁の中)で接触したためのケガ [高]
- ホールドの回転によるケガ [中]
- マットの無い部分に墜落したためのケガ [中]
- 火災・地震・水害による事故 [低]
- 壁の破損による事故 [低]

理解した

クライミングジム リバー 福岡大野城店 誓約書

今後施設利用にあたり、施設内での全てのケガ、事故について、本人の責任において処理し、クライミングジムリバー福岡大野城店およびクライミングパートナーズ株式会社に対しいかなる責任も追及しないことを誓約し利用を申し込みます。

年 月 日

署名 _____

高校生以下の場合、保護者の署名 _____

クライミングをされたことのない保護者様へ

当店は年齢制限を設けてございませんが、全ての年齢の方々に安全を保障できるわけではありません。

小さいお子様の場合は、一般的な遊具とクライミングウォールを比較した際の危険度の違いがご理解いただけない場合がございます。

原則として保護者様のご監督をお願い致しておりますが、何が危ないのか、どこに危険が潜んでいるのか、クライミングを経験しないと分からないリスクというものもございます。ケガやトラブル回避の為にも疑問に思ったことは店員までお声をかけて下さい。